

主要地方道直方芦屋線(天神橋工区)  
(改築系道路事業)

1.事業概要

1)路線の概要

主要地方道直方芦屋線は、直方市殿町の一般国道200号を起点とし、鞍手町、中間市、遠賀町を経由して、遠賀郡芦屋町中ノ浜の一般国道495号に至る延長約19kmの主要な幹線道路である。

本路線沿線には、工業団地(明神池工業団地など)や教育施設などが立地しており、地域の産業や住民の生活を支える重要な機能を担っている。

2)事業の必要性

①天神橋は、昭和11年に架橋された老朽橋で、点検の結果では主部材の損傷が確認されている。また、基準径間長を満足しておらず、パイルベント橋脚であり、治水安全上課題がある。さらに、ゲルバー桁であり耐震性に課題を有しているため、福岡県橋梁個別施設計画では早期に架け換えを行う必要がある橋梁として位置づけられている。

②本事業区間は、直方市都市計画マスタープランにおいて、主要幹線道路として位置づけられている「都市計画道路下老良植木線」の一部であり、老朽橋である天神橋に合わせ、アプローチ部を含めて都市計画と整合する形で整備することが求められている。

③本事業区間の植木交差点は、右折レーンの無い変則5差路で踏切も近接するため、ピーク時に慢性的に渋滞が発生しており、円滑な交通に支障を来している。

④植木中学校の通学経路となっているが、歩道が整備されていない区間があり、歩行者等の安全の確保が望まれている。

3)事業により期待される効果

①(安全・安心の確保)

橋梁を架け換えることで、道路利用者の安全・安心が確保される。

②(産業活動の支援)

明神池工業団地など周辺に点在する工業団地から九州自動車道鞍手ICへのアクセス性が向上し、精密機械産業をはじめとする地域の産業活動を支援することが期待される。

③(円滑な交通の確保)

右折レーンの設置及び変則交差点の解消により、交通混雑が緩和され、円滑な交通が確保される。

④(安全な通行の確保)

歩道を整備することにより、通学生徒を含む地域住民の安全・安心な生活の確保に寄与する。

【混雑度：1.19→0.98】

2.現在の状況

現況幅員：W=6.0(9.0)m

現況交通量(車線数)：12,765台/日(2車線)(大型車混入率6.7%)【R1.12実測】

現況交通量(歩行者・自転車)：206人・台/日【R1.12実測】

3.計画内容

箇所名：福岡県直方市下新入～直方市植木

道路区分・設計速度：第3種第2級 V=60km/h

延長・幅員：L=0.8km W=6.5(15.0)m (橋梁架け換えを含む)

全体事業費：C=7,300百万円 (橋梁架け換えを含む)

事業着手年度：令和4年度

事業完成予定年度：令和13年度

計画交通量(車線数)：11,800台/日(2車線)(R12推計)

費用便益比(B/C)：1.2 (橋梁架け換えを含む)

4.その他特記事項

陳情書・要望書：令和元年7月26日 要望書 直方市から提出

令和元年8月 要望書 新入・植木校区自治区公民館連合から提出

【位置図】



【路線図】



【現況写真】



写真①：天神橋周辺の全景



写真②：植木交差点の渋滞状況

【平面図】



【横断面図】

現道(直方芦屋線(天神橋))



計画(橋梁部)

18.00 (m)



計画(土工部)

15.00 (m)

